

参考文献

奥谷喬司. 1997. 軟体動物. 千原光雄・村野正昭 (編) 日本産海洋プランクトン検索図説. 東海大学出版会
奥谷喬司. 2000. 異足目. 奥谷喬司 (編) 日本金海産貝類図鑑. 東海大学出版会

上野正博. 1998. 1997年初夏, 日本海西部海域に出現したゾウクラゲ類. 日本海区水産試験研究連絡ニュース383.
内山 勇. 2004. シラエビ. とやま面白学企画編集会議編 とやま面白学 富山の自然再発見. 北日本新聞社.

私の野帳 (県内版) から 5

2つの県内記録の淡水動物

布村 昇

富山市科学文化センター

〒939-8084 富山県富山市西中野町1-8-31

Two freshwater animals new to Toyama Prefecture

Noboru Nunomura

射水市からオオマリコケムシの出現

平成18年8月4日、富山市科学文化センターに「射水市青井谷の引面池で獲れた正体不明見かけない物体」ということで質問されたものがあった。顕微鏡で休芽を見るとオオマリコケムシ (*Pectinatella magnifica*) であることが判明した。「1 mになる個体もあった。」とのことであるが持ち込まれたのは15cm×6cmであった。

オオマリコケムシは北米原産の帰化種で、日本では1972年に河口湖で初めてみつきり、その後各地で報告されている。“休芽”が釣り人の道具に付着したか、水鳥の脚などに付着して入ったことも考えられる。

なおオオマリコケムシという和名は富山市出身でこの類の専門家であった故織田秀実博士の命名によるという。



富山市で*Pseudocrangonyx*属 (?) ヨコエビ

平成11年から15年にかけて富山市科学文化センターが実施した里山調査で、平成12年6月16日、三熊の民家の古い井戸からメクラヨコエビが採取された。これは尾肢の形態から*Pseudocrangonyx*属と思われる。本属には、シコクメクラヨコエビなどが知られているが、富山県からは報告が無いと思われる。種の同定はできなかったが、全形のスケッチと一部の付属肢のスケッチを示す。形態の説明は省く。

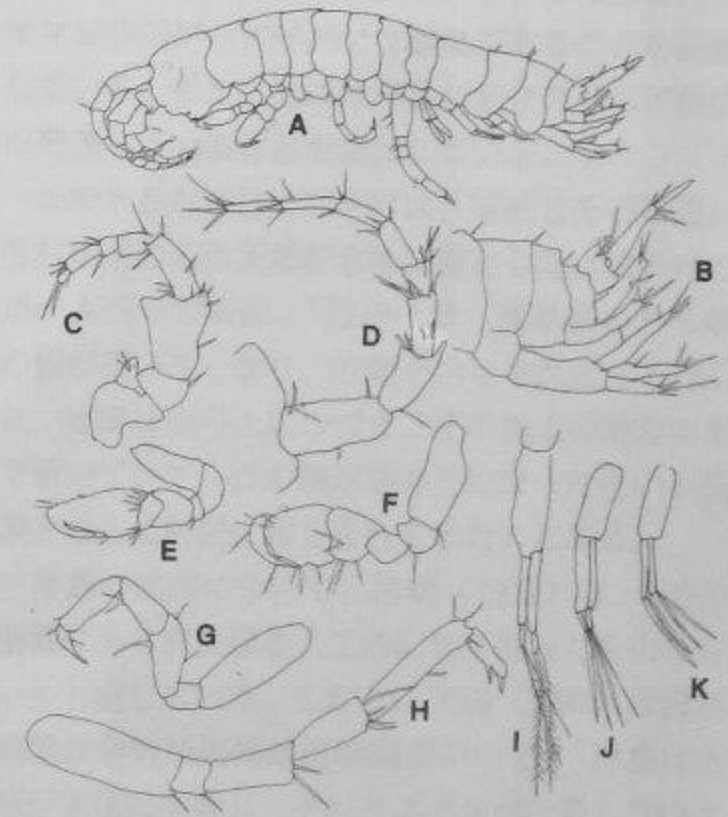


図 *Pseudocrangonyx* (?) sp.
A: 全景; B: 尾部; C: 第1触角 D: 第2触角
E: 第1胸肢; F: 第2胸肢; G: 第4胸肢; H: 第7胸肢;
I-K: 第1-3腹肢